

# CDストッカー CS695L

## 取扱説明書

このたびは、CDストッカーをお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。なお、お読みになったあとは大切に保管していただき、取扱いのわからないときや、不具合が生じたときにお役立てください。

### 安全上の注意

#### ■絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への被害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は以下のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

#### ⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

#### ■絵表示の例

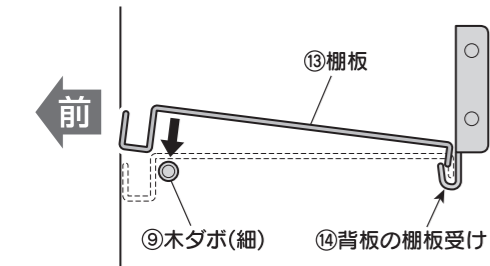


○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容が表示されています。

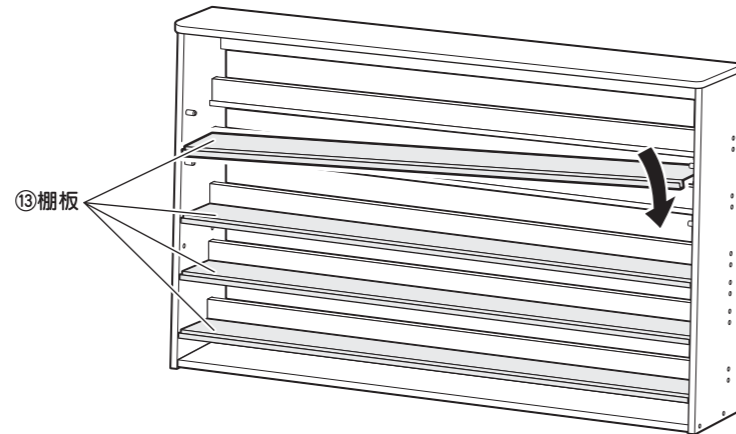
8 下の段から⑬棚板をのせてください。

#### 組立上の注意

- ・⑬棚板は四角の溝のある方が前側です。
- ・⑬棚板は右図のように斜めにして本体に入れ、片側をおろす様にのせてください。
- ・⑬棚板を取付ける際は、⑭背板の棚板受けに入れてから⑨木ダボ(細)にのせてください。



斜めにして本体に入れ、片側をおろす様にのせてください。

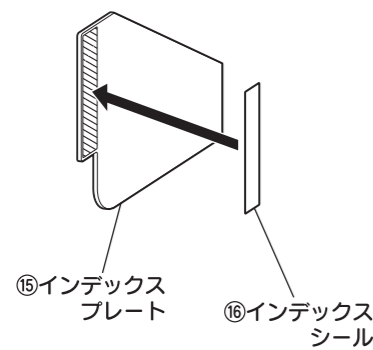


(図は、〈パターン1〉全てCDの場合)

#### ⚠ 注意

棚板の両側で手等を切らない様十分注意してください。特にお子様が触れない様にしてください。また、本体にのせる際にも側板内側をキズつけない様に注意しながら組み立ててください。

9 ⑮インデックスプレートに⑯インデックスシールを貼ってください。



10 完成図



### 取扱い上の注意

- 著しい汚れは、うすめた中性洗剤で落とし、直ちに乾拭きを行ってください。
- 組立てたネジ類がゆるんでいないか時々点検し、ゆるんでいたらしっかり締め直してください。また移動させた際も同様に締め直してください。

#### 品質表示

外形寸法／1392mm×奥行265mm×高さ870mm  
 使用材料／本体木部：プリント紙化粧繊維板  
 棚板・背板：塗装溶融亜鉛めっき鋼板  
 インデックスプレート：ポリエチレン  
 耐荷重／152.0N(15.5kgf)×5段 天板：19.6N(2.0kgf)

製造発売元 オークス株式会社  
 〒955-0842 新潟県三条市島田2丁目8番3号

毎度お買い上げありがとうございます。  
 製品についてのお問い合わせは、  
 オークス(株)までご連絡ください。

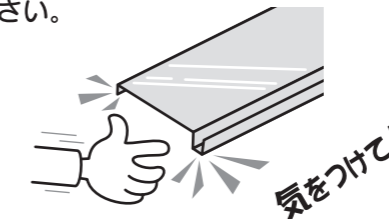
フリーダイヤル 0120-35-1217

お問合わせ時間／土曜、日曜、祭日を除くAM9:00~PM5:00

<http://www.aux-ltd.co.jp>

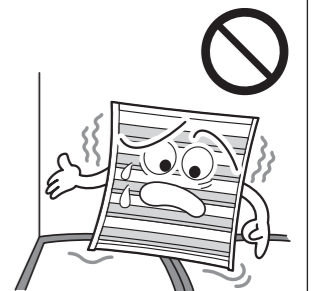
#### ⚠ 注意

- 金属製品部分の角や端面で手等を切らないよう、十分注意をして組立ててください。



- 水平で強度のある床に設置してください。じゅうたん、畳には適していません。

製品が倒れケガをする恐れがあります。



- 本体を移動する場合は、収納物を全て取り除いてから行ってください。

収納物が落下してケガをする恐れがあります。

- CDの収納はできるだけ下段の方から行ってください。

上段に重さが集中すると不安定になり、転倒の恐れがあります。

- 高温・多湿の部屋では空気が滞留すると、カビやダニが発生しやすくなり、健康を害する事があります。部屋の換気は充分に行ってください。

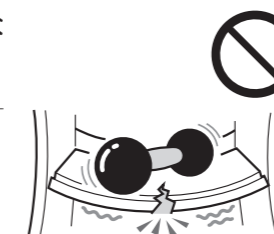
- 当製品の耐荷重は下表の通りです。

1段に収納可能な枚数	1段あたりの耐荷重	天板の耐荷重
約139枚	約15.5kg	約2.0kg

※CD1枚約110gとします

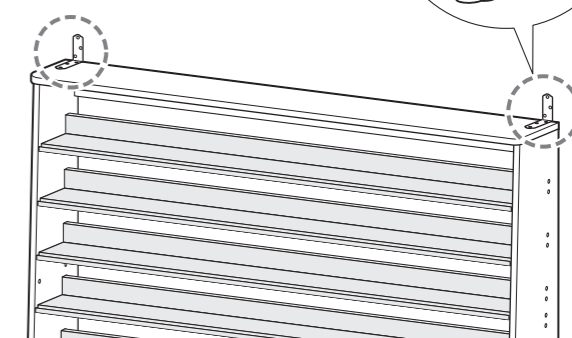
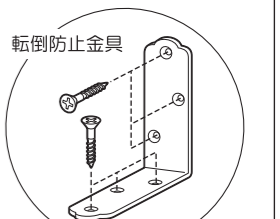
- 耐荷重を超える重量をのせないでください。

製品やCDの破損またはそれによるケガの恐れがあります。



- 必ず壁面に設置し、付属の転倒防止金具を取りつけて使用してください。

地震等による転倒でケガの恐れがあります。



# 部品明細

下図に描かれた部品が揃っているか、組立前にご確認ください。

A 梱包 (A / AB)	①側板 (左) ...1枚	②側板 (右) ...1枚	③天板 (両面化粧) ...1枚	④底板 (両面化粧) ...1枚			
B 梱包 (B / AB)	⑥組立てネジ ...21本 (予備1本含む)	⑦木ネジ ...8本	⑧ナット ...21個 (予備1個含む)	⑨木ダボ (細) ...11本 (予備1本含む)	⑩木ダボ (太) ...5本	⑪ボンド ...1個	⑫ネジかくしシール ...1組
	⑬棚板 ...5枚	⑮インデックスプレート ...20枚					
	⑭背板 ...5枚	⑯インデックスシール ...2シート					

# 組立手順

組立てには⊕ドライバーとハンマー (小型のものでも可) が必要です。  
組立手順を最後までお読みの上、組立てはじめてください。

**1** ビデオテープやDVDソフトも収納する場合は、⑬棚板・⑭背板の取付け位置が変わりますので、どのようなパターンにするかお決めになってから組立て始めてください。

側板内面は、左図のように穴が開いています。

**〈パターン1〉**  
全てCD (5段)

**〈パターン2〉**  
CD...2段  
DVD...2段  
計4段

**2** ⑤天板支え板の上部に⑩木ダボ (太) 1本を、①②両側板の内側・前方の穴には、**1**で決めたパターンに合わせて⑨木ダボ (細) を打ち込んでください。

**⚠ 注意**

組立てはカーペット等の上で図の様に倒した状態で作業をすすめてください。また、他の家具等にキズがつかない様注意してください。

**3** ⑬棚板・⑭背板には透明の保護シートが貼ってありますので、はがしてください。

**⚠ 注意**

棚板・背板の角や端面で手等を切らない様十分注意してください。

**4** ①側板 (左)と②側板 (右)と④底板を図の様な向きにして、本体キャビネットを組立ててください。

**組立上の注意**

④底板の両端に小さい下穴がありますので、よく確認をして⑦木ネジをさしてください。  
位置が合っていない状態で無理に締めると底板が破断してしまうことがあります。(右図※部分)

各接合部ははじめは完全にネジを締めず約2mmほどすきまのある状態にしておいてください。

(図は、〈パターン1〉全てCDの場合)

※ 図中の斜線部分で示した部分はプリント等の表面加工が施されていない部分です。

**5** 本体キャビネットの穴に**1**で決めたパターンに合わせて⑭背板を取付けてください。そして、天板支え板を⑦木ネジで取り付けます。

**組立上の注意**

- ここでも⑭背板の取付けは⑧ナットを完全に締めず⑥組立てネジがはずれない程度の仮止めにしておいてください。
- 天板支え板の取付けは**4**と同じように、下穴の位置をよく確認してネジをさしてください。

(図は、〈パターン1〉全てCDの場合)

**6** 全てのネジを締め、⑫ネジかくしシールを貼ってください。

**組立上の注意**

はじめに⑭背板のネジを締めてから、最後に④底板、⑤天板支え板のネジを締めてください。

(図は、〈パターン1〉全てCDの場合)

**7** 両側板の上部に⑩木ダボ (太) をハンマーで打ち込み、そこへ⑪ボンドを塗り、③天板の角が丸い方を前に向け、先に天板支え板の木ダボに穴を合わせてから全体を合わせ、軽くハンマーでたたきながらしっかりと接合させてください。

**組立上の注意**

天板をハンマーでたたく際は、雑誌や布などを当て、天板に傷がつかないようにしてください。また、天板支え板がたわんで破損しないよう注意してください。